

## 児童手当の二重支払いについて

### 1. 概要

児童手当は年3回(4か月分)の定例の支払いとは別に、転出等の理由によって受給資格が消滅した場合などは、その時点までの確定額を月ごとに、随時支払いを行っています。

このたび令和6年1月分の児童手当(随時)において、本来の対象者53人に支払いを行う際、すでに12月に支払い済みの対象者35人にも、誤って再度支払いを行っていたことが判明しました。

誤った振込をしていた35人の方には、二重支払いのお詫びと経過の説明を丁寧に行い、誤払い分については、返還していただくよう説明と依頼を行います。

再発防止に向け、事務手順を見直し、マニュアルの更新等を行うとともに、誤払い分の回収に努めてまいります。

### 2. 対象者及び金額

対象者人数35人、振込額 1,085,000 円 (一人あたり 10,000～70,000円)

### 3. 経過

令和5年

12月8日 12月随時支払いの振込

令和6年

1月10日 1月随時支払い分の振込

1月23日 2月定例の支払いを起案

2月2日 2月定例の支払いを確認中に、12月と1月に行った支払い処理に対して、システムの更新手続きが行われていなかった(支払い済になっていなかった)ことが判明した。そのため調査を行い、12月の随時支払い対象者に、再度1月にも支払っていたことが判明した。

2月5日 システム事業者に連絡を行い、更新データの修正及び2月分のデータ抽出を行った。

2月9日 対象者へお詫びの通知を送付

2月15日 対象者へ電話による連絡を開始

2月16日 返還の手続きに同意いただいた方へ納入通知書等の送付を開始

2月19日 返還の手続きに同意いただいた方へ訪問を開始

### 4. 発生原因

毎月の児童手当の支払い処理後に、システムの更新作業を失念したことにより、システム上では未払いのまま対象者のデータが残っていたため、二重払いが発生したものです。

マニュアルでは、支払いの起案文書が会計課より処理が終わって戻ってきたタイミングで、支払いを行ったことをシステム上で更新作業を行うこととしていました。

システム上の処理は一連の流れで作業を進める必要があることから、複数の職員が同時に作業

を行うことは難しいため、処理後に係内の他の職員が確認することとしていましたが、この手順を怠っていたことが原因と考えています。

## 5.再発防止策

- 担当者が処理を行う手順及び係内の確認手順について、必ず行うようマニュアルに加筆をして、一層の注意喚起を促します。
- 処理手順のチェックリストを作成し、担当者・確認者が確実に行った記録を添付するとともに、更新した処理画面を決裁文書に添付することとします。添付されたチェックリストと処理画面のハードコピーの両方を確認し、マニュアル通りの処理が行われたことが、一目でわかるようにすることで再発防止に努めます。
- システム上において、更新したことを確認するアラームやチェック機能を加えるなどの改修について検討を行います。